

高付加価値で生産性の高い職場環境の構築

柔軟な働き方の実現に向け「New Work Style グローバルガイドライン」を導入しました

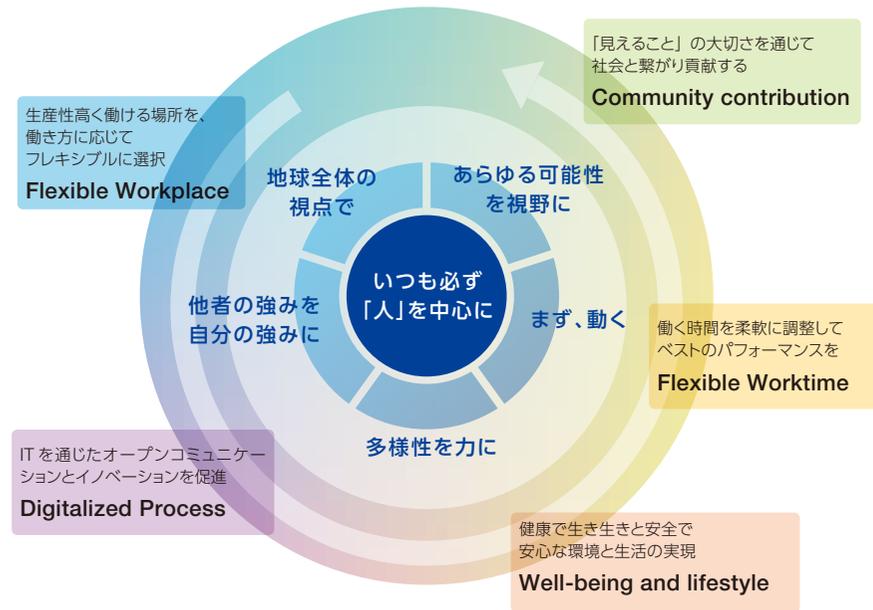
新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、私たちは未来の働き方について再考しています。Social Innovatorを目指す Santen では、この変化をチャンスと捉え、新し

い働き方を推進します。

当社は、いつ、どこで、どのようにして働き、成果を上げるかを社員自身が選択できる「New Work Style グローバルガイドライン」を導入しました。本ガイドラインにより、社員は働く場所と時間を柔軟に選択し、主体性と自律性を持って業務を効率的に進めることができます。当社のVALUES（当社が大切にしている価値観と行動指針）に基づき策定された本ガイドラインを通じ、デジタルワークプレイスの構築を推進するとともに、社員一人ひとりの

ウェルビーイング*1のサポートや地域社会への貢献を目指します。なお新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、例えば日本においては2019年度から2020年度の従業員の平均出社率は約8割減*2となりました。現在もグローバルで積極的なテレワーク体制を継続しています。

本ガイドラインは当社のすべての従業員に適用されます。世界中で働く一人ひとりの従業員が自身のスキル・能力・個々人の経験等を共有しあい、最大限に成果を発揮することができる職場環境をつくっていきます。



VOICE



マヌエル・キルホフ

グローバルHR
グローバルピープルサクセス
グローバルヘッド

多様なスキルや経験を持った世界中の社員が、プロフェッショナルとしてまたチームの一員として自らの働き方に責任をもち、一人ひとりが個人および組織全体の成果の最大化に取り組んでいけるよう、世界中のリーダーと共に、当社ならではの「新しい働き方」をグローバル全社で推進していきます。

スペイン、イタリア、イギリス拠点（販売子会社）が「Great Place To Work®」*3 2021-22年に選定



*1 誰かにとって本質的に価値のある状態。1948年の世界保健機関（WHO）憲章においては「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。（日本WHO協会訳）」と定義されている
*2 日本の内勤社員約600人の出社率をもとに営業日毎で試算（工場、研究所、営業所の社員除く）
*3 本リサーチは世界約60カ国で、働きがいに関する調査の結果が一定水準を超えた企業を「働きがい認定企業」、さらにその上位企業を「働きがいのある会社」ランキングとして発表されている。

高付加価値で生産性の高い職場環境の構築



社員の求心力を高める
デジタル戦略を
展開していきます

原 実 執行役員
チーフ・インフォメーション・
オフィサー (CIO)
兼デジタル&IT本部長

多様性を力に変えるIT基盤を構築

昨年の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、多くの企業がテレワークへの移行を余儀なくされる中、当社は、以前より取り組んできた業務プロセスのデジタル化やインフラ刷新を加速することで、いち早くテレワーク環境を整えることができました。現在では、生産供給や顧客対応部門などの一部を除き、全世界の当社社員が、インターネット環境さえあればどこからでも自業務を遂行できるようになっています。

今後は、在宅勤務の環境整備から目的を発展させ、柔軟な働き方の推進をはじめ、デジタル活用を拡大していきます。現在は、人事と連携しながら、New Work Styleとそれを実現するデジタルワークプレイスの構築を推進しています。本プロジェクトの目的は、当社が掲げるHappiness with Visionの実現に向け、全社員がチームとして連携を強め、各々の多様性を活かしながら能力を発揮すること、さらには意思決定の効率・スピードを加速するアジャイル*1な働き方を実現することで、成果を高めることです。そのため、さまざまな社員のペルソナ*2を設定し、デジタルの潜在的な活用場面について他部門も交えて協議しながら、プロジェクトを進めています。一人ひとりのニーズに合った柔軟な働き方が実現できる体制づくりをデジタルの側面からリードし、感染症拡大のような環境変化に対する組織のレジリエンスも高めていきます。

Santenならではのデジタル変革を目指す

当社でデジタルを担うメンバーは部門間で密に連携し、バリューチェーン全体の課題や将来のニーズを理解したうえで解決策を提案する、いわばデジタルエバンジェリスト*3として、デジタル活用に取り組んでいます。今後は、スマートファクトリー*4、デジタルマーケティング、研究開発や営業などにおけるデータの利活用など、全社の活動のデジタル化に取り組んでいきます。デジタルの活用は、従業員が革新的な技術に触発され、新たな価値創造につながる行動・意識の変革が促進されるという効果も期待されます。国・地域によって技術の成熟度も違えば、情報セキュリティの規制も異なる中、当社ならではの変革の将来像を模索し従業員の働く意欲を高め、Social Innovatorへの変革を後押ししていきます。

*1 素早く柔軟で迅速な *2 架空のユーザー像・人物モデル
*3 デジタル技術の価値や潜在能力を広く正しく部門の垣根を越えて伝達するための担い手
*4 先進技術を導入し、多角的に生産性を向上させていく新しい製造業の在り方

Column 製造現場でのデジタルの活用

Santen Value Award大賞を受賞*5

製品供給部門とIT部門が協働し、データを活用した製造現場の新しいカイゼン活動の在り方を検討しました。製造ラインに携わるメンバーが中心となり、業務品質・生産性向上に向け、IoTセンサーを用い、包装工程でボトルネックとなる事象を把握し、データダッシュボードとして可視化することに成功しました。多様な専門性を持つメンバーが仮説を持って施策実行とPDCAを迅速に回す中で、当社の価値観を自然に体現できたと思います。今後も、変革のエージェントとして、プロダクトサプライ領域における新しい働き方を模索し、活動を拡大していきます。



*5 基本理念のグローバルでの実践促進、各地域・機能でのベスト・プラクティスの共有、互いに褒め称え、学び合う企業風土の醸成を目的に設けられた表彰

高付加価値で生産性の高い職場環境の構築

組織能力を向上させるため、
健康経営に取り組んでいます

健康経営優良法人2021に認定



Santenは、従業員一人ひとりが心身ともに健康で生き生きと活躍できるよう、より健康で安全に働けるような制度導入・環境づくりを進めてきました。健康診断やストレスチェックなどの健康の維持・増進のためのサポートに加え、眼科検診など「目」の健康に関する当社独自の取り組みも行っています。

当社は、健康経営が組織能力の向上を実現するための基盤の一つと考えています。さらに、今、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、従業員を取り巻く環境は大きく変化していることから、今後の環境に対応した新たな働き方の整備にチャレンジしています。今後も国ごとの状況も踏まえ、健康対策や仕組みづくりに積極的に取り組み、世界中の患者さんと医療関係者のニーズに応えることで確実な成長を遂げ、世界の眼科治療に貢献していきます。

ウェルネスweekの開催

〈健康にかかわる多様なテーマのセミナーを開催〉

2020年6月から2021年3月にかけて計5週25回、健康にかかわる多様なテーマでウェルネスweekを開催しました。各週1つのテーマを毎日1時間程度、従業員にオンライン配信しました。心のケア・運動・禁煙など心もからだも健康になるようテーマを変えて開催しました。

〈目の健康について考える「ひとみすこやかweek」を開催〉

ウェルネスweekで取り上げられたテーマの中でも当社独自の取り組みとして、目の健康について考える「ひとみすこやかweek」が開催されました。その中で、産業医でもある川島素子先生（慶應義塾大学眼科）を講師としてお招きし、目の健康セミナーを開催しました。受講者は、目の疾患について学んだり目のストレッチをやってみたり、自身



オンラインセミナーで、受講者である従業員たちが目のストレッチをしている様子

の目の健康について考えるきっかけとなりました。受講者からは、「テレワークが推進される中でPC作業に集中しがちなので、意識的に瞬きをする」など、セミナーで得た知識を日常生活の中で活用し目の健康につなげたいという声が上がりました。さらには、「眼科メーカーで働いているにもかかわらず、自身の目については普段意識する機会がなかった。このような機会があるとあらためて自分や周りの人の目の健康について考え直す良いきっかけとなりました」と従業員にとって企業の存在価値をあらためて実感する機会にもなりました。



セミナー後に目の健康セルフチェックサイト「サンテン・オプティナビ®」*を使って見え方に異変がないかを各自でチェック

*「サンテン・オプティナビ®」は法人・団体様向けの有料サービスとなります。本サービスのお問い合わせ | 参天製薬株式会社 疾患啓発企画チーム healthcare_awareness@santen.com